

(様式4)
令和7年3月28日

令和6年度 大阪市立新東淀中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立新東淀中学校
校園長名 京田 哲次

日 時	令和6年2月27日（木） 18:45～19:45 （1時間 分）	
場 所	大阪市立新東淀中学校 南館3階 第1多目的室	
出席者	委員等	会長1名・委員7名
	学校園	2名（校長・教頭）
	区役所	1名（区役所担当者）
議題	<p>（1）学校の現状 （2）令和6年度「運営に関する計画」年度末評価 （3）3年生大阪府チャレンジテスト、全国体力・運動能力運動習慣等調査 （4）元気アップ地域本部事業 （5）その他質疑応答</p>	
協議要旨	協議の結果	
	(1)	○学校行事等の現状報告と生活指導面を学校より現状報告を行い、理解を得た。
	(2)	○本校の教育や運営に関する計画について、取組内容の報告を行い、理解を得た。
	(3)	○チャレンジテスト、全国体力・運動能力等
	(4)	○元気アップの取り組み状況
	(5)	○不登校の現状 ○毎月の「いじめ」のアンケート
意見の概要		
(1)	○学校現状は落ち着いている。特に1・2学期の学校公開について今後も継続することや3年生の進路（私立・公立）の現状を共有した。	
(2)	安全・安心な教育の推進のうち、不登校についての在籍比率が減少したことや、学力面は厳しい状況だが、学びを支える教育環境はICTの活用が他校に比べ高い推移であり、長時間労働の教員も減少し、働き方改革が進行している。	
(3)	○3年生チャレンジテストは府・市平均よりも低い数値であるが、全国体力・運動能力等については全国平均よりも高い種目や女子が際立って高いものも多く、昼休みのグラウンドでの活動状況を見ても、運動が好きな傾向が続いている。	
(4)	○学期に1回程の英検の取組や漢検の取り組みを通して、自主的に学習する力が身についている。放課後の学習スペースとしての自主学習ルームの継続が共有された。	
(5)	○不登校の減少については、各学年の教員の個別対応や中学校に常駐するSSWの活動、自主学習ルームでの遅刻生徒対応などで来年度はSSR（スペシャルサポートルーム）の取組に併せて、区役所と連携する。 ○アンケート項目の回答が「最も肯定的」な場合であり、各生徒がその回答を心理的に答えづらくなっているとの考察を担当者や管理職と協議し、そのことについて賛同を得た。	
協議資料	・令和6年度「運営に関する計画」（中間評価）・全国学力・学習状況調査、大阪府チャレンジテスト（3年生）のアンケート結果	
備考	傍聴者[0]名	

